

転写産物解析を使って

疾患を研究する

公開シンポジウム・参加費無料

2015.9.10(木)

昨年度実施したシンポジウム

「遺伝子発現解析から転写産物解析へ」では、
遺伝子に重点を置いた従来の解析法では得られない、
タンパク質をコードしないRNAを含めた転写産物解析の
情報の有用性について報告しました。

本年度のシンポジウムでは、
疾患関連の研究に焦点を当て、
転写産物解析の重要性をお伝えすることを目的としています。
疾患の原因解明、治療方法の研究などに日々取り組んでいる
医学、薬学の研究者、製薬会社の研究者の方々の
ご来場を期待します。

会 場 | 理化学研究所 横浜キャンパス
開催時間 | 午後1時から午後5時まで

会場へのアクセスはこちらのURLをご覧ください。
<http://www.yokohama.riken.jp/access/index.html>

お申込み、お問い合わせはシンポジウム担当まで
神奈川県横浜市鶴見区末広町1-7-22
Tel:045-503-9237
E-mail: LSA-support@riken.jp



本理研シンポジウムでは、転写産物解析の1つである網羅的転写開始点解析(Cap Analysis of Gene Expression, CAGE)を使った疾患研究の最前線についてお伝えします。

第1部では、CAGE法を使った疾患の研究について報告します。ゲノムワイド関連解析(Genome Wide Association Study, GWAS)で同定された表現型関連SNPマーカーとエンハンサーの関連、治療抵抗性小児ぜんそくと遺伝子発現の関係、再生医療の基礎となる細胞のマーカー、歯周病のバイオマーカー、薬物応答プロファイリングやシグナル伝達ネットワークについて紹介します。第2部では、CAGE法を利用したい研究者のために、CAGEデータの取得方法、利用できるデータベース、新しい解析ツールを紹介します。

昨年度実施したシンポジウム「遺伝子発現解析から転写産物解析へ」では、遺伝子に重点を置いた従来の解析法では得られない、タンパク質をコードしないRNAを含めた転写産物解析の情報の有用性について報告しました。本年度のシンポジウムでは、疾患関連の研究に焦点を当て、転写産物解析の重要性をお伝えすることを目的としています。疾患の原因解明、治療方法の研究などに日々取り組んでいる医学、薬学の研究者、製薬会社の研究者の方々のご来場を期待します。

プログラム (今後変更することもありますのでご了承ください)

イントロダクション (13:00-13:20)

Piero Carninci Riken Center for Life Science Technologies Division of Genomic Technologies

第1部 網羅的転写開始点解析(CAGE法)による疾患研究 (13:20-15:45)

Erik Arner Riken, Center for Life Science Technologies, Division of Genomic Technologies
Andrew T. Kwon Riken, Center for Life Science Technologies, Division of Genomic Technologies
吉原 正仁 大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学(眼科学) / 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門
岡田 眞里子 理研統合生命医科学研究センター 統合細胞システム研究チーム
鈴木 治和 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門
堀江 真史 東京大学 保健・健康推進本部 保健センター / 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門

第2部 CAGE法を研究に使うには (15:45-16:45)

真鍋 理一郎 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門
柏川 雄也 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門
Jessica Michelle Severin Riken, Center for Life Science Technologies, Division of Genomic Technologies

クロージング (16:45-16:55)

近藤 直人 理研ライフサイエンス技術基盤研究センター

懇親会(17:15- 理研内にて)

言語は主として日本語です。一部英語のプレゼンテーションがあります。

【参加申し込み】

シンポジウムの参加費は無料です。
シンポジウムと懇親会の参加申し込みは下記URLのフォームよりお願いいたします。
懇親会は自費となりますのでご了承ください。2,000円くらいを想定しています。
URL: http://gerg-msg.gsc.riken.jp/genas_event/

【締切】

8月末日までにご登録ください。
直接会場にいらしていただくことも可能ですが、人数を把握したいためできるだけ期日までにご登録いただくと助かります。

【会場のご案内】

理化学研究所 横浜キャンパスへのアクセスはこちらのURLをご覧ください。
<http://clst-in.clst.riken.jp/ja/about/access/#yokohama>

【問い合わせ先】

国立研究開発法人 理化学研究所
ライフサイエンス技術基盤研究センター 機能性ゲノム解析部門
シンポジウム担当
〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-7-22
Tel: 045-503-9237
E-mail: LSA-support@riken.jp

【個人情報に関する取扱について】

ご記入いただいた個人情報は、参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。